

連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会
発行責任者 高橋清明
発行日 2022年3月29日
2022年 NO. 5

TEL 0197 (22) 5505 fax 0197(22) 6577 E-mail : tanko@iwate.jtuc-rengo.jp

こくみん共済 coop<全労済>「7才の交通安全プロジェクト」横断旗



贈呈式の取材に行ってきました。



こくみん共済 coop は、未来ある子どもたちを交通事故から守るため「7才の交通安全プロジェクト」の取り組みの一つとしてマイカー共済の見積もり1件につき横断旗1本を全国の児童館などに寄贈してきました。これまでに、組合員をはじめとしたご協力で、320,800本の横断旗が寄贈されました。

岩手推進本部は、1,100本を県内自治体に贈呈する取り組みを行い、金ケ崎町、矢巾町、宮古市に各300本の寄贈が決まりました。

こくみん共済さんから胆江地協に金ケ崎町への寄贈の案内がありましたので、取材に行ってきました。

2022年3月23日（水）金ケ崎町役場



小学校に入学したばかりの1年生が交通事故に遭いやすいことを知り、「7才の交通安全プロジェクト」が立ち上がったと聞いています。些少ですが交通安全に役立てていただければ有難いです。



高橋寛寿町長へ手渡しました



「うちの女の子」って？

二月の末に奥州市男女共同参画推進委員会がありました。会議の中頃、委員の方から「うちの女の子ってだれだと思いますか。」という問いかけがありました。

その委員の方は、お店に展示してあった作品のすばらしさに心を奪われ、責任者の方に「どなたが作られたのですか。」と尋ねたところ「うちの女の子です。」との答えが返ってきたそうです。委員の方は、責任者のご息女と思ったそうですが、作品を作った方を紹介してもらおうと、ご息女ではなく、そのお店の従業員の女性だったそうです。

委員の方はとてもおどろいたとともに、「うちの女の子」という言い方は従業員に対して失礼ではないかと思ったそうです。試しにインターネットで「うちの女の子」と検索してみたところ、まだまだ使われているとの報告がありました。

これもジェンダーハラスメントに当たることを折に触れて伝えていくことが大事だと思った会議でした。